

---

Everything becomes a dream....

あざらし

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Everything becomes a dream . . . .

### 【コード】

N5805Y

### 【作者名】

あぞらし

### 【あらすじ】

とりあえず書いてみました…

感想いただけると嬉しいです

**E v e r y t h i n g b e c o m e s a d r e a m (前書き)**

この前、E v e r y t h i n g b e c o m e s a d r e a m

という名前で短編として書いていてしまっ……

これは続きます。

中2の低レベルな英語ですみません。

Everything becomes a dream

ふわりと舞い上がり、君想う  
空は青く透き通って  
風を切る音が心地よい  
まだ夢をみているみたい

このごろ思うの  
いつになったら明日はくるの  
そんなこと日常万事だけど  
頭にこびりついたあのメロディーさえも  
今は消し去ろうとヤケを起こす

「ごめんね」の言葉もゆらゆらと映って「言い訳じゃない」  
あんなにそばにいたいと思っていたのに  
笑ってる君は遠い・・・遠い・・・  
手を伸ばしたの？  
君のぬくもり残るこの手を

過ぎていく時だけが私を動かすよ 今は眺めているだけだから  
大切な気持ち失ってしまいそう  
何処を探しても  
君との日々は見つからない  
置いていってと言ったのに

今度また会うときは  
あの頃みたいに抱きしめてね  
何も言わずに

もう一度感じたい・・・

明日はたぶん来ないけど  
少しの期待を込めているから  
苦し紛れの言葉もすべて自由になるよね？

O h t o n i g h t . . .  
I ' l l b e n o t h e r e  
S o I ' l l l e a v e t h i s t o w n  
E v e r y t h i n g b e c o m e s a d r e a m

**E v e r y t h i n g b e c o m e s a d r e a m (後書き)**

ありがとうございました。

so just a little!

夕暮れが波を輝かせるよ  
1人いるのは寂しいけど  
たまには 静かに目を閉じて

you give me support  
信じて

everything's all right  
きつとね

季節の移りと戯れていよう  
今は少し遠いけどね  
夢は儂いものだと  
大人ぶっててもなにも始まらない

きつと足りないのは少しの勇氣  
so just a little  
暁がすべてを照らしてく  
青く白い希望

運命にはたくさん悩まされるけど  
それもどれも be converted to life  
傷ついた昨日  
確かな明日があるから  
時々求めるのをやめても  
無くすことはない・・・



s o j u s t a l i t t l e ! (後書き)

— 応心援詩だす。

冬(前書き)

いくらもがいても倉木麻衣や azuki七さんのような詩は書けな  
いから、惨めになる笑

## 冬

白い吐息がなみだをさそう

「今年も寒いね」

2つのウインター・ベルを揺らしながら

今年は聞けなかった君の懐かしい声

蘇える度：

季節ときのたびに遠ざかる

足跡残して

「明日には雪はやんだかな」

そうして消えた

君の灯火あかし

切なさ抱きしめたはずなのに

溢れて止まらないから

また会いたくて…もう一度

踏みしめた

君とおんなじ所

そのままに

てにもつ

2つの愛のかたちは

いっしょに…君が飛びたてますようにと

願ったつもり

切なさ埋めて消えてゆくのを待つて

過ごせなかったら

明日だけは

祈っておくだけにするから

泣いていても溶けてゆくのを待って

過ぎすから

君に届くかな

冬（後書き）

意味不明————

しかし「応」たび「は」度「と」旅「と」でかけたつもりです……

だ け ど B e s t   f r i e n d

急に溢れたものが

大げさに止まらなくて

気がついたら 君を傷つけてた

まるで すべてを失ったみたいに

絶望感に涙したけど

ううん…

何もなかったから…

もともと君なんていなかったみたいだね

追いかけて

心にしまっていた

黒い雲を吐き出して

最後に笑って

なのになんでこんな後味悪い？

嘘発見器みたいにアンテナ伸ばして

疲れちゃったみたい

1度疑って

晴れたと思ったらまた溢れてゆく

思想の溝とか価値観とか「嫌い」とか

そうゆうのすべて消しちゃえばいいのに！

なのに嫌だな、つながってゆく

昔読んだ

お姫様の fairy tale

今は何だか妙に胸にきて

現実はまだ動き出していないから  
もうちょっとだけ頑張ろう…

君は知ってるから

また2人歩めるはずと

知ってるから…

## Destiny

昨日のサヨナラが胸に響くよ  
今はまだ暗すぎるトンネルの中  
すぐになんて求めてないし  
だけどいつまでもなんてムリ

癒すものにならなくてもなれたのに  
例えば君がいなくなったらなんて  
勝手に不安になって  
本気じゃないって強がるけど  
でもやっぱり涙ぐむ

曖昧に並べた言葉が…  
心動かす力のなかった言葉が…  
夢の中急に優しくなった君のすべてが…  
ウラハラ 息を吹き返してゆく

I hid tears every morning  
But I want to hear your voice  
何よりも…今は  
そう本当の

朝日の到来

今日がきたことに

何だか力が抜けてゆくようで

それでも憂鬱な  
何かはどこか他の  
心の奥深くにあつて  
ひたすら君探してゆく

毎日を大切に、なんて誰にだって言えるけど  
消えてゆく日々なんて  
誰が見ているの？  
誰がいるかなんて  
想像できないでしょう

意味深な言葉の意味が…  
君への纏れた愛が…  
夢へと心移せないね…  
未だ知らないなにかへと変わっていったなら

R e a d i n e s s   t o   l o s e  
P l e a s e   t e a c h   i t !  
すべてが運命だと

D e s t i n y (後書き)

意味不明 | |

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5805y/>

---

Everything becomes a dream....

2011年12月16日01時54分発行